



金沢美術工芸大学と
石川県立図書館が
やってくる
金大工学部跡地

「開かれた美の探求と創造のコミュニティ」
～創造と向き合い「美」が連携する 街のようなキャンパス～



金沢美術工芸大学
金沢市小立野2丁目933-5
敷地面積：47,275㎡
延床面積：約37,400㎡
建設工事費：約139億円
(外構を除く)

昨年十二月、金沢美術工芸大学の建設工事が、金大工学部跡地で着工されました。先行して工事が進み、令和三年度に本体工事の完成を目指す石川県立図書館や、アクセス道路の整備などを併せてご紹介いたします。



金沢美術工芸大学建設工事 工事スケジュール

	R2	R3												R4					R5										
	12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3月	
準備工事																													
掘削・基礎工事																													
躯体工事																													
仕上げ工事																													

金沢美術工芸大学の建設工事は令和5年2月末完成、キャンパス移転は令和5年度中を目指しています。主な工事工程は左記のとおりです。

連絡先
金沢市都市政策局 金沢美術工芸大学建設事務所
金沢市小立野2丁目41番40号
(旧中央消防署小立野出張所)
TEL 076-220-2089

※別途、外構工事を令和3年～令和5年に実施する予定です。



新石川県立図書館

金沢市小立野2丁目933-1
敷地面積：約33,000㎡
延床面積：約22,000㎡
建設本体工事費：約125億円
(外構を除く)

新石川県立図書館完成イメージ

「本のページをめくる」というイメージを表現
大型パネルとガラスが折り重なる構造とし、開放的な眺めとなるよう配慮



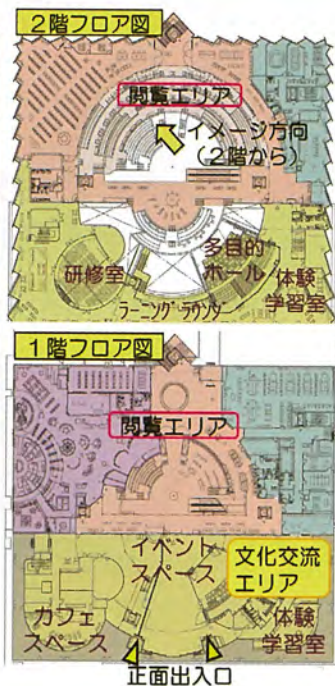
「基本コンセプト」

「県民の多様な文化活動・文化交流の場として、県民に開かれた『文化立県・石川』の新たな“知の殿堂”」

新石川県立図書館 閲覧エリア (イメージ)



館内を「めぐり」ながら、本との出会いを楽しむ



新石川県立図書館は、今年十二月に本
体部分の工事を完成させ、二〇二二年度
前半に開館する予定です。自由に閲覧で
きる開架図書は現図書館の約三倍となる
三十万冊で、書庫の収蔵能力は七十五万
冊から二〇〇万冊になります。また、閲

覧席も約五〇〇席と増加します。
館内にはイベントスペースや研修室、
カフェのほか、ものづくりや調理を体験
できるスペースなども設置されます。
さらに屋外には児童が耕作を体験でき
る「お話の森」、ベンチで読書ができる

「読書の庭」、さま
ざまな活動の場とし
て利用できる「交流
の広場」などが設け
られることから、図
書の閲覧に限らず
色々なことが行える
魅力いっぱいの図書
館になるようです。

アクセス道路周辺イメージ図



2020年度 活動紹介

2020年度はコロナ禍で感染防止対策を図って実施できる活動を行いました。

カルチャー部



10/11 金沢歴史探訪ウォーキング 「一向一揆伝説と小立野神社巡り」

“まいどさん”の案内で、椿原天満宮、田井菅原神社、宝円寺などを巡りました。

グッドライフ部



10/16 「ソープフラワーづくり」

石鹸の素材でかわいいお花を作りました。



花の委員会



12/21 「しめ飾りづくり」

新年を迎えるにあたって、参加者が各自で「しめ飾り」を作りました。



11/27 「ステンシル・染色体験」

友禅作家の宮嶋千恵さんの可愛くポップな型紙でオリジナルハンカチを作りました。



グッドライフ部



12/17 12/25 「大根寿しづくり」

密にならないよう、毎年好評の大根寿しづくりを2回開催しました。

体育部



11/15 「ボウリング大会」

金沢コロナワールドでたくさんの参加者とボウリングを楽しみました。



成人おめでとうございます

Congratulations on your coming-of-age ceremony

令和2年度 金沢市城東地区公民館合同成人式 令和3年1月9日(土) 本多の森ホール



祝辞

金沢市長 山野 之義 様



国歌斉唱

心の中で斉唱



開式

今年度の成人式はコロナ禍での開催となりましたが、感染防止対策を徹底し、関係各位のご協力とご理解をいただき無事開催することができました。
また今年度は崎浦公民館が代表者の当番館であったことから、式典の流れに沿って紹介させていただきました。



来賓祝辞

石川県知事 谷本 正憲 様



記念品贈呈

崎浦公民館 新田 智也 さん



式辞

城東地区公民館連絡協議会会長 関戸 正彦

コロナ禍の中で成人式が中止の場所も多くあった中で開催して頂き、久しぶりの友達と会うことが出来て嬉しかったです。今後は大人としての自覚を今以上に持って行動したいと思います。



市民憲章唱和

一同心の中で唱和

崎浦公民館 谷島 奈々 さん

今年度は新型コロナウイルスの影響で例年とは違う成人式となりましたが、無事成人できたことを嬉しく思います。また大人になった実感はありますが、これから大人の一員として責任ある行動をしていきたいと思います。



崎浦公民館 山東 意子 さん

明るい選挙推進の決議

私が成人を迎えることができたのは、家族、友人、私と関わりを持ってくれた人達のおかげです。人は一人では絶対に生きていけないと思っています。家族、友人はもちろんこれから出会う人にも感謝の気持ちを大切にしていきたいです。



崎浦公民館 高木 望帆 さん

安全運転の誓い

成人式が開催出来るのか心配でしたが、無事に開催され友達と会うことができ嬉しかったです。舞台上立つのは緊張しましたが、たくさんの方に無事成人したことや感謝の気持ちを伝えられたので良かったです。



崎浦公民館 三浦 茜音 さん

誓いのことば



密を避けるため間隔をあげ、2組に分けての撮影となりました。

令和3年度の成人式は2022年1月8日(土) 本多の森ホールにて開催される予定です。

七尾城址を訪ねて

塩硝の道検証委員会座談会

令和二年十二月十一日

崎浦公民館研修室

出席者（敬称略）

大窪一朗 島田裕正 多田 稔

羽場利次 山下昭夫

谷内賢正（司会）

谷内 令和二年十月十三日に、前田利家公が初めて城主とられた七尾城を訪ねました。少し前までは草ぼうぼうで、石垣が少し見える程度でしたが、今は整備されてとても綺麗な城址でした。

●七尾城址
羽場 ボランティアガイドの佐野藤博氏に案内されて七尾城址を巡りました。

七尾城は標高三百メートルの連郭式の堅固な山城で、日本百名城にもなっているほか、日本五大山城と称されています。広い城跡でした。

島田 本丸駐車場で佐野ガイドと会い、大窪丁寧な解説を受けながら、調度丸・遊佐屋敷・本丸へと巡りました。最後の本丸への階段は厳しかったです。麓では尺八を吹いている人に出会い、杉木立の中に名音が響き渡り貴重な体験をしました。好天に恵まれ、本丸からは眼下に七尾の町並み、七尾湾や七尾火力発電所の二百メートルの煙突、能登島、遠く能登半島が眺められ



ました。上杉謙信も眺めの素晴らしこの地に立って、遠くの家族を偲び「九月十三夜」の歌を詠みました。ガイドを中心に私達も自然と「霜は軍営に満ちて」と吟じました。長時間にわたり本丸跡を散策して、四方の景色を堪能しました。

杉木立と石垣が綺麗なのは、廃城後に民有地となり、植林などで自然林となっていたところ、近年に七尾市が買い取り、下草刈りをして石垣が綺麗に見えるようになったのです。

山下 七尾城は今、杉木立に包まれており、散策できませんが、重厚な石垣には圧倒されました。二段、三段の石垣は野面積みで、戦国時代に多い石垣を表しております。

所要所要に案内板があつて、城跡には当時の建物は一切残っておりませんが、石垣に囲まれた屋敷の建物を想像した時に、戦国時代の七尾城の姿が甦ってきました。

谷内 七尾城の歴史についてお話し願います。

大窪 七尾城を築かれたのは「能登畠山氏」であります。室町幕府の三管領の一人で、足利一門の有力家臣であった畠山基国が能登国守護職に任ぜられたのが、今から六百年程前の室町時代です。畠山氏は室町幕府の「管領職」の地位にある大物でした。管領とは將軍を補佐する人です。

能登畠山氏は、基国の次男満慶が応永十五年（一四〇八）、今から六一二年前に七尾に築城しました。落城する天正五年（一五七七）まで、畠山家が一六九年間に亘り能登を治めていたこととなります。

七尾城は最も優れた山城構造の全貌を知郭の、最も優れた山城構造の全貌を知

ることが出来る城跡だと評価されています。更に七尾城は単なる立て籠もりの砦ではなく、絵図を見ると日常的な政治活動や生活をし得た拠点城郭であり、多数の屋敷地が集結した壮大な城郭構造は、まさに「山上都市」として七尾城が機能したことを示しています。

谷内 標高三百メートルの山城の石垣は、どこから石を集めたんでしょうかね。

羽場 綺麗な石積を見ると、織豊時代のもので思われます。最初は当然土塁の山城であったが、後に城の防備を強固にする為に石垣を積んだのでしよう。石垣も本丸付近だけで、二の丸、三の丸等は土で成る城でしたね。

石面が整っていて、海石ではなく川石ですね。石動山系は花崗岩から成っていて、城の周りも急流の木落川など、たくさん的小川がありました。その谷川の石を集めたんでしょね。大変な威圧を感じました。

●加賀文化に影響を与えた畠山文化について

多田 古文書によれば七尾城の麓に城下町が出来て、港付近まで町並みが一里余り続き、その様子は「千門万户」と称されていました。「千門万户」とは建物や部屋の多いことです。更に町中には多くの人が行き交い、朝鮮の布、米や塩などの品物が売られ、とても賑やかだと「独楽亭記」に記されています。

応仁の乱（一四六七）の後、京の都は不安定になりましたので、能登畠山氏を多くの文化人が訪ねて来たこと記録にあります。畠山氏は京の文化人との交流を通して、京文化を基礎としながら、能登地域に根ざした独自の能登畠

山文化を繰り広げ栄えていました。そして後にその流れを汲んだ加賀文化に続いていくんです。

山下 大永六年（一五二六）京の都の歌会を主管している冷泉家第六代当主、冷泉為廣は、七尾城での歌会に参加し「庭ひろみ 苔のみとりはかたよりにて あつき日陰に白きまさこち」と詠んでいることから、苔庭があった大きな屋敷であったことがわかります。永世、天文の時代は最も政治的にも安定し、桃山文化が栄えました。

冷泉為廣、為知父子は七尾に長居をして、為廣が七尾にて亡くなり、津幡にお墓があります。当時能登は都文化が栄えていたが、金沢は未だ草むす田舎であったと言われています。

谷内 昭和五十二年に第二十五代当主、冷泉貴美子様が、津幡町の津幡小



学校横にある為廣塚の前で、冷泉為廣の年忌法要の歌会が行われた時に、私も招待されて列席しました。目の前で、皇居で行われる新春の歌会と同じ雰囲気を経験しました事が未だに忘れられません。

（※芭蕉の孫弟子であった津幡の歌人河合見風が、為廣公の墓石を探して津幡に石碑を建立し、河合家子孫が墓守をしている）

●七尾という地名について

島田 七尾城は山城で七つの尾根に拵がっている大きな城です。本丸のある松尾から枝分かれをする竹尾・梅尾・菊尾・亀尾・虎尾・龍尾の七つの尾根に大小の砦を配置していました。それ故に七尾と言う地名は、七つの尾根に由来すると言われています。

●難攻不落と言われていた七尾城の落城について

大窪 五大山城と呼ばれるくらい堅牢で、城攻めの得意な上杉謙信ですら攻め落とすのに一年を要しました。謙信も攻めあぐねたため、最後は謀略を行ったのです。重要家老の遊佐、温井、三宅に秘かに呼びかけて城内に反乱を起こさせ、畠山、長家老などの一族は皆殺しとなり、落城してやっと上杉勢が占領しました。そして一七〇年間能登を治めていた畠山氏は滅亡しました。

その時上杉謙信は七尾城の本丸から見た月に風流を感じて「九月十三夜」という歌を詠んでいます。一年ほどの長い戦いだったので、故郷の家族を偲んだ歌で有名です。

七尾城が苦戦中に長家老は織田信長

に応援を頼み、落城を知らず手取川まで来た時、突然現れた上杉勢と遭遇し、これが名高い「手取川の戦い」となったのです。

●利家入城

多田 七尾城は上杉謙信の能登支配の拠点となりましたが、翌年の天正六年（一五七八）に上杉謙信が急死したことにより、織田信長と畠山家老の長連龍らにより、能登から上杉勢力が追い払われて、織田方の拠点となりました。天正八年（一五八〇）、能登一國を与えられた前田利家が七尾城に入城しました。

利家がかねがね「山城はふさわしくない。麓を囲まれば兵糧攻めに会い不利である。また、城は守るだけでなく、領地の行政を行うのに適していない」と、山城から里城へと直ちに着手し、小丸山城へ遷りました。

その後、元和元年（一六一五）に徳川幕府の一国一城令の規則により、七尾城は廃城となって石垣のみが残ることとなりました。

島田 七尾市教育委員会が九月下旬から初めて発掘調査に入りました。調度丸跡で建物の礎石や陶磁器の一部が見つかりました。調度とは戦いに使う武器や日用品などを格納するところです。

調度丸は本丸の真下にあるため、城主畠山氏の重臣の茶道に使う天目茶碗も出土しています。教育委員会の担当者と話したところ、「未だ初めての着手で、今後何が出てくるか楽しみだ」と話されていました。

●小丸山城

山下 小丸山城は天正十年（一五八

二）一月、利家によって築かれました。この城は「前田利家トントン拍子の出世城」と言われています。

七尾城は堅固な山城でしたが、行政や経済に不便だったので平地に計画されたのだと思います。山城が平地に築かれた最初の城です。

城地には当初「能登生国比古神社」が鎮座していましたが、七尾市所口町に遷座させました。利家が金沢に移ると、兄の前田安勝が配され、引き続き能登国の中心となりました。

また、山の手にお寺が二十九箇寺集められ、防衛ラインとしました。今までの堅固な山城から里城になった初めての城なんです。小丸山城増築中に、利家が尾山城（後に秀吉が金沢城と改名）へ遷ることになり、増築中の加工材料をすべて金沢へ移送し、利用したと言われています。

●長齡寺

島田 最後に前田家の菩提寺、長齡寺に寄りました。前田利家は名古屋在住の頃から大透圭徐禅師に帰依せられていましたが、天正三年（一五七五）越前府中に三万三千石を与えられた時に禅師と呼ばれ、府中に宝円寺を建立されました。

利家公は天正九年（一五八一）十月、能登二十三万石に封ぜられて七尾に入城した時に、大透圭徐禅師を再度招き、城館横に大伽藍の宝円寺を建立されました。したがって仮寺を母の法名を取って長齡寺と名づけて菩提寺としました。

谷内 藩祖利家公の平和な時代の城の有り方を勉強させられた良い見学会でした。長時間ありがとうございました。



公民館フェア

令和3年2月21日(日)～



表彰式中継配信録画(動画サイトにて)



創作作品展

令和2年度 金沢市公民館優良役職員・永年勤続役職員表彰

崎浦公民館からは、永年の公民館活動に対して公民館委員の9名が表彰されました。

優良役職員



穴田 和 夫さん

受賞
おめでとうございます

勤続30年



出口 制子さん



徳中外 二さん



北川 賢一さん

昨年十二月に逝去されました

勤続20年



諸角 和人さん

勤続15年



柿沢 啓子さん



谷内 賢正さん

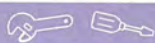
勤続10年



小津 地広さん



細島 勇さん



施設整備・感染予防対策



■ 老朽化した設備の入れ替え



2階男性トイレの洋式化



ホール音響設備の部分替

■ 新型コロナウイルス感染予防対策を充実



検温とアルコール消毒



手洗いと水洗の自動化



* 編集後記 *

ほとんどの公民館行事が中止になる中、成人式は無事行われ、新成人の皆さんの晴れやかな表情が素敵でした。来年度は状況が改善され、さまざまな記事を紹介できるようになればと願っています。(広報部)